

【議案第33号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第2号 **320万円**

食品製造工場の建設等に活用した 国庫補助金を返還するのはなぜ？

説明 平成27年度に市内食品加工業者が国庫補助事業を活用し、玄米や大豆を原料とした食品製造工場の建設および加工用機械設備を整備した。このうち、玄米を原料としたパンなどを製造する機械設備を、大手米菓メーカーのグループ内にある玄米パン製造会社へ譲渡し、市内食品加工業者は、大豆加工品の製造に専念した事業展開を図ることとなったため、機械設備への補助金のうち、未償却分を国庫に返還する。(財源は、市内食品加工業者から市への返還金)

問 市民を雇用するなど、市と業者の間に協力体制はあるのか。

答 業者が既存工場を建設した際に、市民の雇用を条件に市の工場等建設促進助成金および雇用促進奨励金を交付しており、当時2年間で10人の市民の雇用があった。現在も定期的に業者訪問を行っている

中、雇用も含め、情報交換や状況確認を行い、友好関係の構築を図っている。

問 大豆加工品は、健康志向や環境負荷軽減の観点から関心が高まっているが、同様の事業を行う企業は、全国的に増加しているのか。

答 大手食品メーカーや中小企業を含め、ここ数年で、かなり大きな市場規模となりつつある。健康や環境への意識の高まりから、今後もニーズや参入企業の増加が予想される。

意見 今後、ますます競争は激化していくと考える。業者への訪問頻度を増やし、継続して状況把握に努めてほしい。



代替肉は、家畜による環境負荷や世界人口増加による食糧不足への懸念などから、年々注目を集めている

【議案第33号】 令和5年度鯖江市一般会計補正予算 第2号 **1,270万円**

上河内の林道および道の駅西山公園 駐車場の崩落への対応は？

説明 融雪水等の影響により、林道上河内間地線の法面および道の駅西山公園駐車場北側奥の斜面が崩壊し、土砂が流出した。令和5年度は、その復旧工事のための現地の測量、土質調査、対策工法の検討などの詳細設計の業務委託を行い、復旧工事については、令和6年度の当初予算にて要求する。

問 今回は人的被害が発生していないが、人的被害が発生した場合、責任の所在はどこにあるのか。

答 市が管理する場所が原因で被害が発生した場合は、市に管理責任がある。しかし、被災の原因にもよるため、明確化することは難しい。

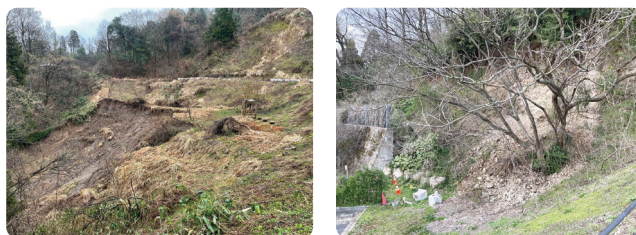
問 これから梅雨を迎え、大雨の発生も予想されるが、どのような応急処置を行っているのか。

答 上河内林道では、大型土のうを水路沿いに並べ、土砂が流出しないよう措置を講じている。

また、道の駅西山公園駐車場北側では、崩落土砂が駐車場へ流出しないよう大型土のうを2段に積み、周辺を立入禁止としている。

意見 上河内の林道について、この場所はラポーゼかわだに近いことから、宿泊客が森林浴を楽しめるような散歩道とすることや、観賞用の植林を行うなど、林道の有効活用や景観にも配慮した整備も検討してほしい。

答 宿泊客の散歩道として利用することは、よい活用方法であると考え。復旧工事については、景観や安全に配慮した整備を行っていく。



林道上河内間地線(左)および道の駅西山公園駐車場北側奥(右)の崩落の様子